

令和5年度 江戸川区立南篠崎小学校 学校関係者評価 年度当初・中間報告書

学校教育目標	<ul style="list-style-type: none"> よく考え、進んで学ぶ子ども 心身ともにたくましい子ども 明るく思いやりのある子ども きまりを守り、責任を果たす子ども 	<ul style="list-style-type: none"> 目指す学校像 目指す児童像 目指す教師像 	<ul style="list-style-type: none"> 笑顔いっぱい、友達いっぱい、夢いっぱいの南篠崎小学校 かしこく やさしく たくましく 正しく 子どもの可能性を見だし、最大限に伸ばす教師
前年度までの学校経営上の成果と課題	<p><成果> 新型コロナウイルス感染症対策により教育活動に制限はあったが、児童が学校に来るのが楽しみになるような授業や活動が実施できた。 各教員の得意分野を中心にミニ研修会を実施したことで、指導の幅を広げ授業への活用ができるような意見交流が活発になった。</p> <p><課題> 学習指導要領に基づいた日々の教科指導や生活指導の実践並びに学校主体の教育活動への改善・充実を図る。 組織的な対応で児童一人一人の存在を大切にす指導、支援を全教職員で行えるようにする。</p>		

教育委員会重点課題	<取組項目> ・評価の視点	具体的な取組	数値目標	自己評価		学校関係者評価	年度末に向けた改善策		
				取組	成果			評価	コメント
学力の向上	<学方の向上> ・授業改善の推進、学習の基盤となる基礎・基本の確実な習得、家庭学習習慣に対する学校の組織的な対応による取組の実施・充実	<ul style="list-style-type: none"> 算数ベーシックドリル診断テストでの学力定着を把握する。 放課後補修教室(算数)の実施 スタディプラスの実施 主体的な学びへつながる教材の工夫 eライブラリーアドバンスを活用した学方の向上(江戸川っ子スタディワークの積極的な取組) 	<ul style="list-style-type: none"> 各学年診断テスト平均正答率5%向上 児童アンケート「授業が楽しい」90%以上 児童アンケート「授業の内容がわかる」80%以上 	A	B	<ul style="list-style-type: none"> 算数ベーシックドリル診断テスト 3年: +2.9% 4年: -4% 5年: +4% 6年: +1% 「授業が楽しい」 →約92% 「授業の内容がわかる」 →約90% 	B	<ul style="list-style-type: none"> 落ち着いて授業に取り組むことができる。 友達と協力して取り組む姿が見られてよかった。 体験する学習があり、わかりやすくなった。 グループ学習で友達とよく関わり合いながら学習に取り組んでいるのいいと思いました。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域・保護者への周知の工夫を図る。 HPや学校だより等での取組についての情報発信
	<読書科の更なる充実> ・読書を通じた探究的な学習の実施・充実 (読書科ノートの活用、資料の収集の仕方や記録の取り方の指導、自己の考えをまとめ表現する方法の指導、朝読書と1単位時間の授業との関連付け、他教科との関連等) ・学校図書館の整備、学校図書館を使った授業の充実	<ul style="list-style-type: none"> 学校図書館を活用し、SDGsの取り組み等に関する探究的な学習(3年以上)の実施 教員による読み聞かせの実施 読書科ノートの活用の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 児童アンケート「探究的な学習は好きですか?」80%以上 児童アンケート「本が好きですか?」80%以上 	A	B	<ul style="list-style-type: none"> 「探究的な学習は好きですか?」 →約85% 「本は好きですか?」 →約86% 	B	<ul style="list-style-type: none"> 学校公開等で教室内の作品や廊下の掲示物等で多くのお子さんの調べたものを見てみたい。 調べてまとめた作品を様々な場へ出品できたことがあった。 以前よりタブレット端末を効果的に活用して調べることができるようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> 図書館司書との連携 読書科の学習計画
体力の向上	<運動意欲や基礎体力の向上> ・体育の授業や休み時間における全校運動遊びなど主体的な運動の実施による運動意欲の向上	<ul style="list-style-type: none"> 1日1回の外遊びの奨励、休み時間の体育館開放 課題解決を目指した授業づくり 	<ul style="list-style-type: none"> 児童アンケート「すずんで体を動かしているか」90%以上 体を動かすことが好きな児童90%以上 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 「すずんで体を動かしているか」 →約88% 「体が動かしやすくて好き」 →約91% 	B	<ul style="list-style-type: none"> 暑い日が続くので、その対策に努めながらこれからも活動に取り組んでほしい。 学校行事や学校公開の様子から、実際に児童の運動する姿が見られてよかった。 家族で運動会が見ることができよかったです。 	<ul style="list-style-type: none"> 体育の学習における課題のたせ方や場の工夫を充実させ、主体的に問題解決に向けた学習となるような授業改善。
	<特別支援教育の推進> ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた個に応じた指導の実施・充実 ・エンレジャーの活用促進 ・副読交流、交流及び共同学習の実施・充実	<ul style="list-style-type: none"> 毎時間エンレジャールーム当番を設け、ミニケース会議等で共通理解をした児童対応等にあたる。 副読交流する学校と連携をとり、その子の興味、関心に基づいた取り組みを考え、互いに理解を深めあう時間にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童アンケート「学校が楽しい」等の学校への満足度に関する回答95%以上 	A	B	<ul style="list-style-type: none"> 「学校が楽しい」 →約93% 	B	<ul style="list-style-type: none"> 様々な問題を抱えた児童がいるかと思いますが、引き続き指導をお願いします。 家で学校の様子を話すことが増えてきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ケース会議を生かしたさらなる指導の充実と徹底
子どもたちの健全育成	<子どもたちの健全育成に向けた取組> ・不登校対策の実施・充実 ・教育相談の強化 ・hpaper-QRの活用	<ul style="list-style-type: none"> いじめの事案が発覚した場合はすぐいじめ対策委員会を開く。 各種コンテストへの奨励による自己実現 	<ul style="list-style-type: none"> いじめ問題解決100% いじめ見逃しゼロ(100%) 児童アンケート「学校楽しい」90%以上 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> いじめ問題解決 →100% いじめ見逃し →100% 「学校が楽しい」 →約93% 	B	<ul style="list-style-type: none"> 子供に寄り添った対応を引き続きお願いします。 子供の様子で気になることがあるので、担任の先生やスクールカウンセラーと相談して解決していきたい。 子供同士トラブル等起きた時の対応について今後も相談させていただきます。 	<ul style="list-style-type: none"> 専門機関との連携の充実 早期発見につながるようより組織的な取り組みの工夫。
	<一人の南っ子のための対応の充実> ・ケース会議を活用した、児童理解と指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> 毎週木曜日に行い、様々な事案について情報交換し、一貫した指導の共通理解を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 年度末までの実施率90%以上 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ケース会議の実施率 →95% 	B	<ul style="list-style-type: none"> 友達のトラブルについて担任の先生に相談し、親身になって話を聞いていただきよかったです。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導法の工夫と共有化を図り、学校全体で指導の一体化をさらに目指す。
地域に広く開かれた学校(園)の実現	<自校(園)の取組の積極的な発信> ・学校(園)ホームページの充実等 ・学校公開の実施後、毎回アンケートを行い、授業の様子や児童の様子等意見や感想を求め、今後の学校教育活動へ生かす。	<ul style="list-style-type: none"> 適時ホームページの更新を行い、地域、保護者へ学校の様子を伝えられるようにする。 学校公開の実施後、毎回アンケートを行い、授業の様子や児童の様子等意見や感想を求め、今後の学校教育活動へ生かす。 	<ul style="list-style-type: none"> 月に2-3回以上のホームページ更新を目指す。 地域、保護者の授業や学校生活に関する満足度90%以上 	A	B	<ul style="list-style-type: none"> 月に2-3回程度、授業や学校行事、学年での取組等について更新することができた。 地域、保護者の授業や学校生活に関する満足度 →約90% 	B	<ul style="list-style-type: none"> 以前よりホームページの更新が多くあり、学校の様子が変わるようになった。 これからも学年での取り組みや学校行事の様子を伝えてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校での様子や少しでも発信できるよう、HP担当を中心として計画を立て、定期的にHPの更新を続けていく。
	<学校関係者評価の充実> ・教育活動の改善・充実に向けた学校関係者評価の実施	<ul style="list-style-type: none"> 地域や保護者、学校評議員の方へ学校アンケートを行い、授業や学校行事、児童の様子等について意見をいただき、今後の教育活動につなげられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域、保護者、学校評議員の学校生活に関する満足度90%以上 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 「地域、保護者の授業や学校生活に関する満足度」 →約90% 	A	<ul style="list-style-type: none"> 学校公開で特に制限を設けず、以前のような学校公開になったのでよかった。 コロナ対策の時は時間等が制限されていたが、今年度は子供たちの様子を多く見ることができてよい。 	<ul style="list-style-type: none"> よりよい教育活動を実施するためにも、保護者や地域、学校関係者などの方々の意見も伺いながら進める。
特色ある教育の展開	<学校における働き方改革プラン> ・学校における働き方改革プランに基づく取組の実施	<ul style="list-style-type: none"> 会議等を精選し、時間外労働時間の短縮化。 C4th等を活用した情報の共有化 学校経営支援を担う人材の導入 	<ul style="list-style-type: none"> 時間外労働時間を平均40時間台を目指す。 C4thのメール等の機能を使った情報共有化を90%以上を目指す。 スクールサポートスタッフ、副校長補佐等の人材を活用し、業務軽減を目指す。 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 時間外平均労働時間 →4月から7月の期間 平均約37時間 スクールサポートスタッフ、副校長補佐の人材活用による公務軽減→銀行への出金・入金、印刷等の業務サポートで負担軽減につながっている。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 教職員の負担を軽減し、教育活動に専念できるように環境を整えていくことも必要である。 教育活動の充実のため、今後も引き続きご尽力をお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> 長時間勤務になってしまふ教職員への声かけや、改善に向けた取り組みの工夫を図る。 情報共有後の検討事項の連絡・確認の方法の工夫について
	<本物に触れる、専門家から学ぶ> ・農作業等の体験や農園での自然体験、芸術家などの専門家から学ぶ機会を通して児童の学びと学習意欲を高める。	<ul style="list-style-type: none"> 農園ボランティアの方との連携、味噌、食育などのゲストティーチャーを招いての授業 	<ul style="list-style-type: none"> 児童アンケートによる各体験、学習の、満足度90%以上 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 各体験、学習の満足度 →約92%(これから実施する学年については、最終の報告書でとまとめる。) 	B	<ul style="list-style-type: none"> 多くの体験を通して、子供たちの成長につながってほしい。 以前に近い活動になりよかったです。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後もよりよい活動を目指すとともに、児童の実態や環境の変化に応じた活動の工夫を図る。